

□主な内容

【第 6 回 EST 交通環境大賞の結果を公表！】

EST 普及推進委員会では、「第 6 回 EST 交通環境大賞」の各賞を決定し、EST ポータルサイトにおいて公表いたしました。

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014_02.html

【第 8 回 EST 普及推進フォーラムの参加者募集中！】

EST 普及推進委員会では、2 月 26 日 (木) に、第 8 回 EST 普及推進フォーラム「2020 年に向けた低炭素交通システムを考える」を開催します。皆様の参加をお待ちしております。

<http://www.estfukyu.jp/forum8.html>

□目次

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 102 回)

●「都市・地域レベルでの道路交通 CO2 排出量の可視化」

【首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 小根山 裕之】

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 102 回)

●「みんなで ECO。」

【東京地下鉄株式会社総務部環境課 課長補佐 工藤 広也】

3. ニュース／トピック

●第 6 回 EST 交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

●第 8 回 EST 普及推進フォーラムのパンフレット・ポスター掲示の募集について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について～燃料電池タクシーに係る事業計画を初めて認定～【国土交通省】

●「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の交付先の公募について【経済産業省】

●平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の公募について【環境省】

●電気自動車で伊勢を周る！「エコスタンプラリー」【三重県】

●快速バス運行 (モノレール・バス乗り継ぎ) 実証実験について【沖縄県】

●豊田市における新燃料電池システムを搭載した路線バスの運行について【豊田市、トヨタ自動車株式会社、日野自動車株式会社】

●電気自動車等災害時及び省エネ活用設備導入補助金について【大垣市】

- 平成 26 年度省エネ大賞受賞者の決定について【一般財団法人省エネルギーセンター】
- 世界各地の拠点で環境保全の共通行動を開始【日本通運株式会社】
- 電気自動車用急速充電設備の充電サービス開始予定について【東日本高速道路株式会社、ジャパンチャージネットワーク株式会社】
- 燃料電池関連の特許実施権を無償で提供【トヨタ自動車株式会社】
- イギリス、大気質改善プロジェクトに 100 万ポンドを助成【イギリス環境・食糧・農村地域省】

4. イベント情報

- 第 8 回 EST 普及推進フォーラム「2020 年に向けた低炭素交通システムを考える」【2015/2/26】
- 第 6 回地域バス交通活性化セミナー「地域住民のためになる路線バスをみんなで作ります」【2015/2/23】
- 2015 冬 公共交通フォーラム「シームレスな公共交通の実現に向けて～利用者視点からの利便性向上を考える～」【2015/1/31】
- 平成 26 年度静岡市公共交通シンポジウム【2015/1/31】
- CO2 削減ポテンシャル診断セミナー2015【2015/1/28、1/29、2/5、2/6、2/13】
- さいたま市パーソナルモビリティ普及シンポジウム【2015/2/2】
- ひらかたエコフォーラム 2015【2015/2/7】
- 第 12 回バスマップサミット【2015/2/7-8】
- 地域公共交通確保維持改善セミナー「再発見！四国の公共交通」【2015/2/12】
- 「低炭素・資源循環・自然共生」地域の実現による地域再生に向けて～GPP 事例発表会～【2015/2/13】
- 低炭素杯 2015【2015/2/13-14】
- 交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会【2015/3/6】

5. その他

- EST パートナシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
- 平成 27 年度の支援自治体、支援校を募集しています
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
- 記事募集中！

1. 寄稿(1)「環境的に持続可能な交通を目指して」(第 102 回)

●「都市・地域レベルでの道路交通 CO2 排出量の可視化」

【首都大学東京大学院都市環境科学研究科 教授 小根山 裕之】

2 年前、燃費の悪い RV 車から燃費のよいハイブリッド車に切り替えました。始動直後の燃費が悪い状態を利用する短トリップが多いためか、思ったほど実燃費が上がりません。しかし、この車には瞬間燃費や累積燃費を表示する機能があり、私も妻もゲームのように競って燃費を上げようとしています。これはまさに燃費を“見える化(可視化)”したことによる効果といえるでしょう。燃費情報を提示するだけでもエコドライブを促進する効果があることが知られています。もちろん、可視化してもエコ運転の方法が本質的に間違っていたら燃費は上がりませんので、そのような教育も必要でしょう。

このような可視化の重要性は指摘されているところですが、都市域における CO2 の削減という観点からも非常に重要と言えます。特に、主な CO2 の発生源である道路交通について、時間的・空間的により細かいレベル(例えば、1 時間～数分の時間間隔、数百 m の道路区間単位など)で算出・可視化できれば、問題箇所の把握と対策の立案、CO2 排出量の多い区間を避けるエコルートへの誘導、交通制御へのフィードバックと効果評価など、様々な活用法が考えられます。

交通流における CO2 排出量を外部から直接計測するのは非常に困難です。そのため、交通量、渋滞量や自動車の走行軌跡に関するデータから、何らかのモデルを介して排出量を推計するプロセスが必要となります。近年では、自動車をセンサーとして車両軌跡、旅行時間、速度などを観測するプローブデータの利用、交通流シミュレーションを利用した交通状況の予測に、CO2 排出量推計モデルを組み合わせて、ナウキャスト(現況の予測)、施策を実施した際の将来予測など、かなり詳細なレベルで推計できるようになってきました。柏 ITS 推進協議会など、いくつか先進的な事例も見られます。都市における時空間的に詳細な CO2 排出量の可視化は、細かいことを挙げればいろいろ課題はありますが、技術的にはある程度完成されつつあるといえます。

しかしながら、その利用方法についてはまだまだ検討の余地が多々あると思われます。また、目的に応じた情報の表示・提供方法も工夫の余地があるでしょう。様々な地域、都市において積極的に導入し、活用事例が蓄積されていくことを期待したいと思います。

2. 寄稿(2)「地方から全国に向けた情報発信！」(第 102 回)

●「みんなで ECO.」

【東京地下鉄株式会社総務部環境課 課長補佐 工藤 広也】

当社は、長期環境戦略『みんなで ECO. 』を策定し、「『安全で質の高い鉄道サービスの提供』を着実に推進する一方で、省エネルギー施策に積極的に取り組むことにより、2020年度の鉄道事業における総エネルギー使用量を 2009 年度実績より増加させない」ことを目標としています。あわせて「首都東京の都市機能を支える事業展開を通じ、東京の環境負荷低減と、魅力と活力あふれる東京の実現に貢献」することを、2020 年度に目指す姿とし、その実現のため、「東京メトロ自らのエコ化」「東京メトロを使ってエコ」「沿線地域とエコ」の 3 つのテーマを掲げています。

全てのお客様に安心してご利用いただくため、ホームドア設置などの安全対策や、バリアフリー設備設置などのサービス向上施策を実施していることで消費電力量は増加していますが、各種省エネ施策の実施により、鉄道事業全体としてはエネルギー使用量を増加させないことを目標にしています。そのための施策として、上記 3 つのテーマを以下にご紹介します。

「東京メトロ自らのエコ化」これは、エネルギー消費が少ない車両や機器の導入、地球温暖化防止に貢献するための再生可能エネルギーの活用、リサイクル・リユースや資源の効率的な利用による廃棄物削減、振動・騒音の低減などの取組みをこれまで以上に積極的に推進し、事業活動における環境負荷を可能な限り低減していきます。

「東京メトロを使ってエコ」これは、自らの環境負荷低減と並行して、東京メトログループ中期経営計画の東京メトロプラン 2015 で掲げる「安全で質の高い鉄道サービスの提供」を着実に推進していきます。これにより、地下鉄の利便性向上を図り、より多くのお客様に安心してご利用いただくことで、環境負荷を可能な限り低減していきます。

「沿線地域とエコ」これは、「東京とともに成長する」との観点から、沿線地域と連携した環境保全活動を推進していくことで、東京に集う人々の生き生きとした毎日に貢献していきます。

今後も、地球環境保全に積極的に取り組み、東京の環境負荷低減と、魅力と活力あふれる東京の実現に貢献していきます。

3. ニュース／トピック

●第6回 EST 交通環境大賞の結果について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会では、「第6回 EST 交通環境大賞」(主催:EST 普及推進委員会、エコモ財団、後援:国土交通省、警察庁、環境省、一般社団法人日本自動車工業会、公益財団法人日本バス協会、一般社団法人日本民営鉄道協会)の各賞を決定し、公表しました。

http://www.estfukyu.jp/kotsukankyotaisho2014_02.html

●第8回 EST 普及推進フォーラムのパンフレット・ポスター掲示の募集について【EST 普及推進委員会、エコモ財団】

EST 普及推進委員会では、2月26日(木)ルポール麹町「ロイヤルクリスタル」にて「第8回 EST 普及推進フォーラム 2020年に向けた低炭素交通システムを考える」を開催します。

<http://www.estfukyu.jp/forum8.html>

当日ロビーにてパンフレット・ポスター掲示を実施します。現在、その参加者を募集しておりますので、ご興味ございましたら【2/13(金)締切】で、以下までご連絡ください。

(株)オリエンタルコンサルタンツ(担当:佐藤)

TEL:03-6311-7856 E-MAIL:satoh-tk@oriconsul.com

●「地域交通グリーン化事業」の対象案件の決定について～燃料電池タクシーに係る事業計画を初めて認定～【国土交通省】

国土交通省では、環境性能に特に優れた電気自動車の普及を効果的に加速し、低炭素まちづくりや地域・交通事業のグリーン化を推進する観点から、他の地域や事業者による電気自動車の導入を誘発するような先駆的事业を行う自動車運送事業者等を重点的に支援する「地域交通グリーン化事業」を実施しています。この度、応募の中から、福岡県北九州市及び福岡市における、全国初となる燃料電池(FCV)タクシーに係る事業計画を含む、本事業の支援対象とする案件を決定、公表しました。

http://www.mlit.go.jp/report/press/jidosha10_hh_000138.html

●「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」の交付先の公募について【経済産業省】

経済産業省では、「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」を実施する補助事業者(業務管理事業者)を募集しています。電気自動車及びプラグインハイブリッド自動車用の充電設備等の導入を行う者に対して、その費用負担を軽減するため、補助金を交付する事業等を通じ、次世代自動車の更なる普及を促進し、運輸部門における二酸化炭素の排出抑制や石油依存度の低減を目的としています。公募期間は1月30日(金)までです。

<http://www.meti.go.jp/information/publicoffer/kobo/k150109001.html>

●平成 27 年度 CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業の公募について【環境省】

環境省では、将来的な地球温暖化対策の強化につながる技術開発・実証を、「CO2 排出削減対策強化誘導型技術開発・実証事業」により、実施しています。この度、平成 27 年度新規課題の公募を開始しました。公募期間は 2 月 10 日(火)までです。

<http://www.env.go.jp/press/100212.html>

●電気自動車で伊勢を周る！「エコスタンプラリー」【三重県】

三重県のモデル事業により設立された「電気自動車等を活用した伊勢市低炭素社会創造協議会」では、「EV 等で観光できる環境づくり」をすすめるため、平成 25 年度に作成した「小型 EV で周る観光ドライブコース」や平成 25 年度に路線バスとして導入されたピカチュウ電気バスを活用した EV 等で伊勢を周遊するスタンプラリーを 1 月 5 日(月)～2 月 28 日(土)の間、実施しています。

<http://www.eco.pref.mie.lg.jp/details/index.asp?cd=2014120339>

●快速バス運行(モノレール・バス乗り継ぎ)実証実験について【沖縄県】

沖縄県では、公共交通のサービスを一層向上させるため、モノレールとバスの乗り継ぎを意識した、モノレール首里駅と琉球大学を結ぶ快速バスの試行運行を 1 月 19 日(月)から開始しました。

<http://www.pref.okinawa.lg.jp/site/doboku/toshimono/monorail/basu/basu.html>

●豊田市における新燃料電池システムを搭載した路線バスの運行について【豊田市、トヨタ自動車株式会社、日野自動車株式会社】

豊田市では、環境負荷の少ない次世代自動車の普及促進や利便性の高いバスネットワークの整備による公共交通への転換など、環境にやさしい持続可能な低炭素交通システムの構築を目指しています。この度、低炭素交通システムの構築を推進するため、新型燃料電池バスを路線バスとして実証運行させることとなりました。新型車両の運行は全国初となります。

http://www.city.toyota.aichi.jp/pressrelease/1275512_7011.html

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/4857986/>

http://www.hino.co.jp/news_release/225.html

●電気自動車等災害時及び省エネ活用設備導入補助金について【大垣市】

大垣市では、EV や PHV などの次世代自動車を、災害時の非常用の移動電源として活用するため、外部電源(車載電源等)の導入費用の一部を補助します。また、蓄電池に割安な夜間電力を充電し、蓄えた電力を昼間に家庭用電力として使用することで、電力需要のピークシ

フトの役割を果たすV2H(充給電設備)も災害時非常用電源として活用できるため、同様の補助を行います。

<http://www.city.ogaki.lg.jp/cmsfiles/contents/0000022/22129/150106denticar.pdf>

●平成 26 年度省エネ大賞受賞者の決定について【一般財団法人省エネルギーセンター】

省エネルギーセンターでは、「平成 26 年度省エネ大賞」(主催:一般財団法人省エネルギーセンター、後援:経済産業省)の各賞を決定し、公表しました。省エネ大賞は、国内において省エネルギーを推進している事業者及び省エネルギー性に優れた製品を開発した事業者の活動を広く共有するとともに、優れた取組を行っている事業者を表彰することにより、省エネルギー製品の普及促進、省エネルギー型社会の構築に寄与することを目的としています。

<http://www.eccj.or.jp/bigaward/winner14/index.html>

●世界各地の拠点で環境保全の共通行動を開始【日本通運株式会社】

日本通運株式会社では、地球環境保全の取組みの一環として、世界 40 カ国に展開する日本通運グループ各社が協力して、世界各地の事業所に「緑(植物)」を置く「世界共通行動」を 2015 年 1 月から開始します。CO2 削減に向けて従業員の意識向上を図るとともに、4 月からは物流の効率化、輸送手段の改善、環境分野における社会貢献活動など地球環境保全に貢献する取組み 9 項目の中から事業所が自ら取り組む内容を選定し、実行することとしています。

<http://www.nittsu.co.jp/press/2015/20150114-1.html>

●電気自動車用急速充電設備の充電サービス開始予定について【東日本高速道路株式会社、ジャパンチャージネットワーク株式会社】

NEXCO 東日本とジャパンチャージネットワーク株式会社では、経済産業省の「次世代自動車充電インフラ整備促進事業」による補助金を活用し整備を進めてきた高速道路のサービスエリア・パーキングエリアにおける電気自動車用急速充電設備について、一部の積雪地域等を除き、ジャパンチャージネットワークの運営管理による充電サービス(有料)を本年春頃にかけて順次開始します。

http://www.e-nexco.co.jp/pressroom/press_release/head_office/h27/0114/

●燃料電池関連の特許実施権を無償で提供【トヨタ自動車株式会社】

トヨタ自動車株式会社では、燃料電池自動車(FCV)の普及に向けた取組みの一環として、トヨタが単独で保有している世界で約 5,680 件の燃料電池関連の特許(審査継続中を含む)の実施権を無償で提供することを公表しました。

<http://newsroom.toyota.co.jp/jp/detail/4663446>

●イギリス、大気質改善プロジェクトに 100 万ポンドを助成【イギリス環境・食糧・農村地域省】

イギリス環境・食糧・農村地域省は、大気質助成プログラム(2014-2015 年)により、地方自治体が大気質の向上を目指して実施するプロジェクトに総額 100 万ポンドを助成することとし、会員制カーシェアリングの駐車区画への電気自動車充電設備の設置(ウエストミンスター市)、自転車用道路の改良(ウォットフォード市)など 24 件の対象プロジェクトを発表しました。

<https://www.gov.uk/government/news/24-projects-to-improve-air-quality-to-recieve-1-million-fund>

4. イベント情報

●第 8 回 EST 普及推進フォーラム「2020 年に向けた低炭素交通システムを考える」

日時: 2015 年 2 月 26 日(木)14:00~17:40

場所: ルポール麴町 2 階「ロイヤルクリスタル」

主催: EST 普及推進委員会、エコモ財団

<http://www.estfukyu.jp/forum8.html>

●第 6 回地域バス交通活性化セミナー「地域住民のためになる路線バスをみんなでつくり出す」

日時: 2015 年 2 月 23 日(月)13:30~16:45

場所: 長野第一ホテル 4 階「羽衣」

主催: 国土交通省北陸信越運輸局、エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/bus/6th_seminar.html

●2015 冬 公共交通フォーラム「シームレスな公共交通の実現に向けて～利用者視点からの利便性向上を考える～」

日時: 2015 年 1 月 31 日(土)13:30~16:30

場所: 横浜みなと博物館 訓練センター第 1 教室

主催: 横浜の公共交通活性化をめざす会

<http://lrt.cocolog-nifty.com/yokohama/2015/01/2015-ac65.html>

●平成 26 年度静岡市公共交通シンポジウム「公共交通の未来を考える！！～これからの『公共交通』ってなんだかな～」

日時: 2015 年 1 月 31 日(土)13:30~16:00

場所: しずぎんホール「ユーフォニア」

主催: 静岡市

<http://www.city.shizuoka.jp/deps/kotu/H26shinpojiumu.html>

●CO2 削減ポテンシャル診断セミナー2015

日時:(仙台)2015年1月28日(水)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(福岡)2015年1月29日(木)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(大阪)2015年2月5日(木)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(名古屋)2015年2月6日(金)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)
(東京)2015年2月13日(金)10:00~12:00(講習会)、13:30~(相談会)

場所:(仙台)トラストシティカンファレンス・仙台 room5
(福岡)西鉄イン福岡 Bホール
(大阪)大阪コロナホテル 別館 200AB 会議室
(名古屋)名古屋ダイヤビルディング 2号館 243 会議室
(東京)世界貿易センタービル 3階 RoomA

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/19018.html>

●さいたま市パーソナルモビリティ普及シンポジウム

日時:2015年2月2日(月)13:00~16:30

場所:埼玉大学総合研究棟シアター教室

主催:さいたま市、埼玉次世代自動車環境関連技術イノベーション創出センター
(NeCST)

<http://www.city.saitama.jp/005/002/001/p039705.html>

●ひらかたエコフォーラム 2015

日時:2015年2月7日(土)10:00~15:30

場所:メセナひらかた会館

主催:特定非営利活動法人ひらかた環境ネットワーク会議

<http://hirakata-kankyounet/2014/12/05/ekohuo-ramu-2015/>

●第12回バスマップサミット

日時:(1日目)2015年2月7日(土)12:50~18:20

(2日目)2015年2月8日(日)13:00~15:00

場所:(1日目)京都府京都市下京区 キャンパスプラザ京都

(2日目)兵庫県姫路市 姫路駅北口駅前広場

主催:全国バスマップサミット in 関西実行委員会

http://rosenzu.com/busmap/summit_kansai.html

●地域公共交通確保維持改善セミナー「再発見！四国の公共交通」

日時:2015年2月12日(木)13:00～17:00

場所:香川県県民ホール 大会議室

主催:国土交通省四国運輸局

<http://www.tb.mlit.go.jp/shikoku/newsrelease/2014/2015-0113-1101-4.html>

●「低炭素・資源循環・自然共生」地域の実現による地域再生に向けて～GPP 事例発表会～

日時:2015年2月13日(金)13:00～17:00

場所:JA 共済カンファレンスホール

主催:環境省

<http://www.env.go.jp/press/100186.html>

●低炭素杯 2015

日時:(1日目)2015年2月13日(金)12:30～17:00

(2日目)2015年2月14日(土)13:00～16:00

場所:東京ビッグサイト 国際会議場他

主催:低炭素杯 2015 実行委員会

<http://www.zenkoku-net.org/teitansohai2015/>

●交通・観光カーボンオフセット支援システム説明会

日時:2015年3月6日(金)13:30～16:00

場所:TKP 名古屋駅前カンファレンスセンター「カンファレンスルーム 6C」

主催:エコモ財団

http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/data/setumeikai_15.3.6.pdf

5. その他

- EST パートナーシップ会員制度に参加する団体を募集しています！
2013年7月16日から募集を開始し、38団体が参加しています。
会員サイトトップページで、交通と環境に関するニュースをリアルタイムで掲載しています。
http://www.estfukyu.jp/partnership_gaiyo.html
- EST 普及推進委員会事務局は Twitter による情報提供を始めています！
<https://twitter.com/officeEST>
- 交通環境学習(モビリティ・マネジメント教育)メールマガジンを発行しています！
配信申込はこちらから
<http://www.mm-education.jp:80/magazine.html>
平成27年度の支援自治体、支援校を募集しています
http://www.mm-education.jp/jititai_sien.html
http://www.mm-education.jp/gakkou_sien.html
- 「グリーン経営認証」に関する情報は、専用ホームページへ
<http://www.green-m.jp/>
- エコ通勤優良事業所を認証登録しています！
<http://www.ecomo.or.jp/environment/eco-commuter/index.html>
- 交通・観光事業者によるカーボンオフセットの取組みを支援しています！
http://www.ecomo.or.jp/environment/carbon_offset/carbonoffset_system.html
- 記事募集中！
本メールマガジンへの掲載記事を募集中です。
EST、または「交通と環境」に関連する取組みや話題、催し物の案内等を事務局までお寄せください。 → E-mail: magazine@ecomor.jp (担当: 熊井)

発行: 環境的に持続可能な交通 (EST) 普及推進委員会事務局
(公益財団法人交通エコロジー・モビリティ財団)

配信申込、バックナンバー閲覧はこちらから

<http://www.estfukyu.jp/mailmagazine.html>

配信停止はこちらから

https://p.blayn.jp/bm/p/f/tf.php?id=mail_ecomo

EST ポータルサイト: <http://www.estfukyu.jp/>